

## Lecture11

Date & Place: 2009 September 6<sup>th</sup>, Baffousan

Title of lecture: 「カメルーン西部州における王国の形成と伝統的な首長のコミュニティにおける役割（3）」

Lecturers: Mr. F. Evariste（ヤウンデ第一大学）、木村大治（京都大学）

### Summary:

カメルーン西部州における王国の形成と伝統的な首長のコミュニティにおける役割（3）というテーマで、演習を実施した。バフサンの王宮と博物館を訪問した。ここは、外国の援助をうけて博物館を建設するなど、海外とのつながりも深かった。王は、大学で学位を取得後、カメルーン国内で企業に勤めていた経験をもっていた。父の死後、後継者として王をつとめたとのことであった。20分程度と短い時間であったが、王が時間をさいてくれてスクールの参加者と面会してくれた。王の役割や住民とのかかわりなどについて、スクール参加者が王へ質問することができた。（写真1、2）



写真1



写真2 王国の役割や歴史についてバスのなかで説明するエヴァリストさん。この地域の出身で、自身も王位を継承する可能性のある王子である